



内子座



藝於遊



瓦の取外し③

令和7年10月15日、大屋根での作業をいったん終え、続いて東西の櫓の屋根に取り掛かりました。大棟部分、降り棟部分、そしてそれぞれの鬼瓦の取外しが行われました。右の写真は西櫓の大棟鬼瓦を裏側から撮った写真です。大屋根同様に6つのパーツで構成されていて、よく見ると銅線で結ばれているのがわかりますね。目を凝らしてみてくださいね。



▲番付をしている様子。小さな瓦も見逃さない！



▲大棟部分のすべての層を出したら、層ごとに写真に収めていきます。そしてまた、土をのけながら瓦を一枚一枚、取り外していきます。何度も何度も繰り返すこの作業。大正の創建、昭和の復原と、先人たちにも思いをはせながら作業を取材させていただきました。



西櫓屋根の様子
(10月15日撮影)



◀内子座の屋根は土葺きのため、瓦を取り外すと大量の土が出てきます。これを取り除くのも一苦労。この写真は櫓の降り棟部分を解体している様子です。



◀瓦同士を固定するのに土を利用していますが、さらに漆喰などを利用してしっかりと固められています。瓦を割らないように注意深くはがしています。